

2011年9月1日

桑名市議会議員

愛敬

桑名市メールマガジン
くらしの安全情報9月号

大規模災害では、電話が通じにくくなり、今回のように日中に起きると自宅や職場、学校などにいる家族同士がお互いに連絡を取ることが難しくなります。そこで家族が離ればなれになった時の集合場所や、連絡の取り方を事前に話し合っておくことが重要です。自宅近くの指定された避難所が広い場合は、どのあたりに集まるか、また、どの道を通って避難場所に向かうのか、具体的に決めたい下見しておく、行き違いを防ぐことができます。また自宅近くだけでなく、職場や学校からの避難先、それに子供が通う保育所の避難先なども確認しておきましょう。さらに電話が通じないことを想定して、連絡をどう取り合うか、決めておくことも大切です。

NTTや携帯電話各社は、大規模災害が起きたときに安否情報を確認できる「伝言ダイヤル」や「伝言板サービス」を行っています。どの会社のサービスを利用するのか、事前に家族間で取り決め、使い方を確認しておきましょう。